

津市リサイクルセンター基本設計概要



平成24年5月
津市

1. 施設概要

■位置：津市片田田中町地内

■設計概要：造成面積 約4.0ha
(うち宅盤面積 約2.5ha)

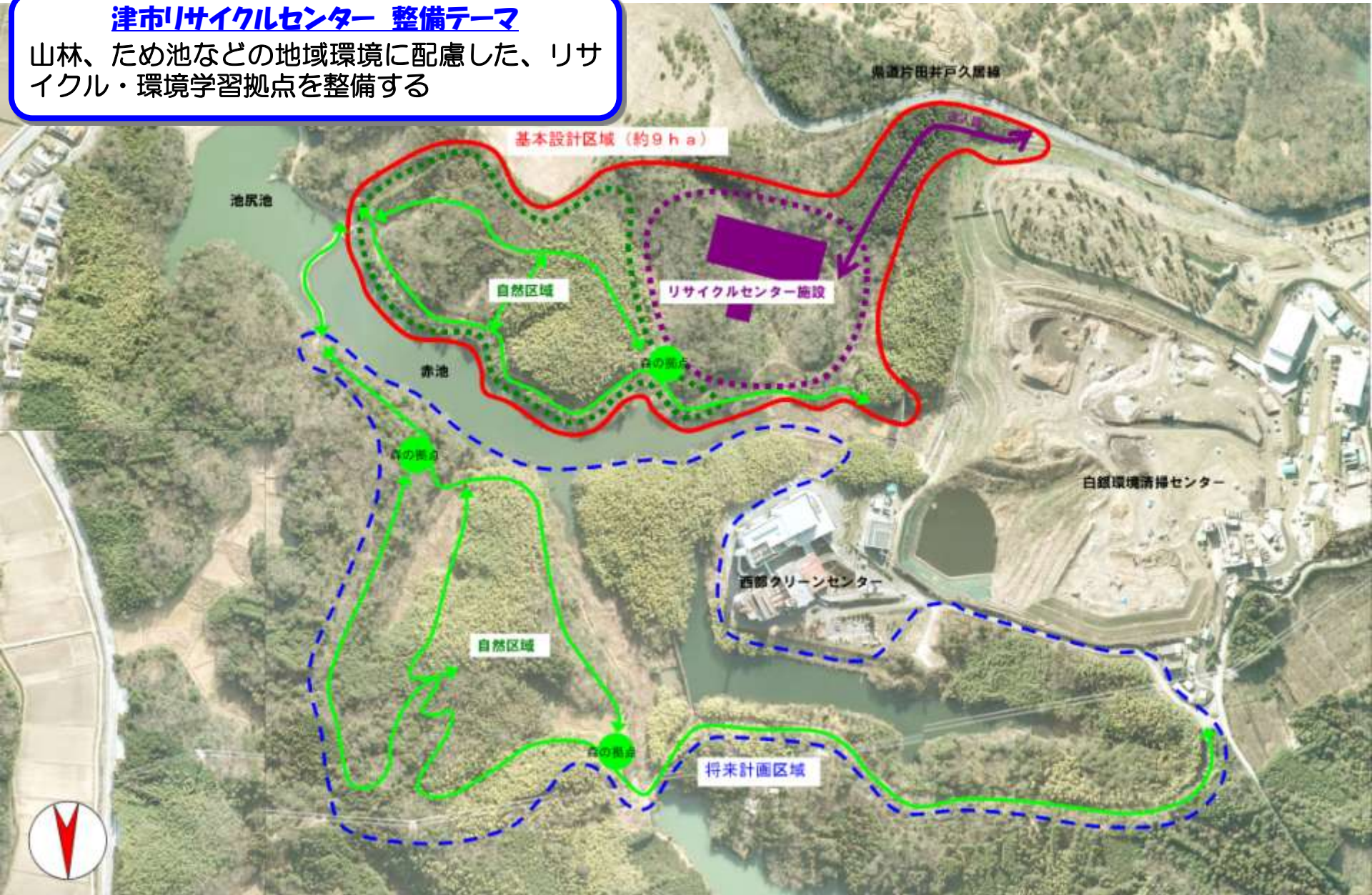
■施設の種類：

- ①リサイクルセンター・・・破碎選別処理施設、資源物処理施設
- ②管理棟・・・事務室、環境学習推進施設
- ③車庫棟
- ④ストックヤード棟
- ⑤新エネルギーゾーン
・・・太陽光発電施設・風力発電施設・電気自動車充電設備・
ジオラマ等

2. 計画方針

津市リサイクルセンター 整備テーマ

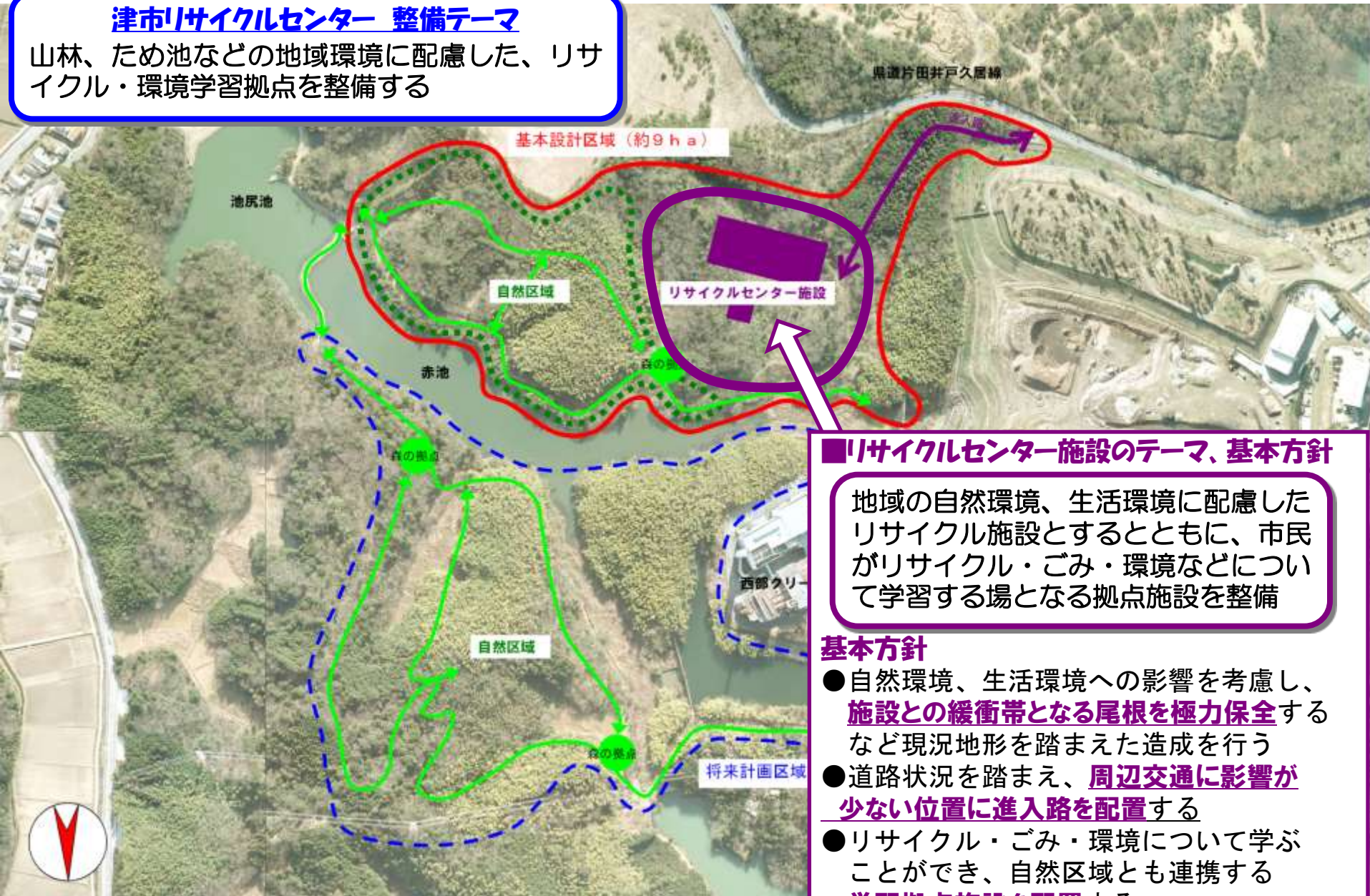
山林、ため池などの地域環境に配慮した、リサイクル・環境学習拠点を整備する



2. 計画方針

津市リサイクルセンター 整備テーマ

山林、ため池などの地域環境に配慮した、リサイクル・環境学習拠点を整備する



リサイクルセンター施設のテーマ、基本方針

地域の自然環境、生活環境に配慮したリサイクル施設とするとともに、市民がリサイクル・ごみ・環境などについて学習する場となる拠点施設を整備

基本方針

- 自然環境、生活環境への影響を考慮し、**施設との緩衝帯となる尾根を極力保全**するなど現況地形を踏まえた造成を行う
- 道路状況を踏まえ、**周辺交通に影響が少ない位置に進入路を配置**する
- リサイクル・ごみ・環境について学ぶことができ、自然区域とも連携する**学習拠点施設を配置**する

2. 計画方針

津市リサイクルセンター 整備テーマ

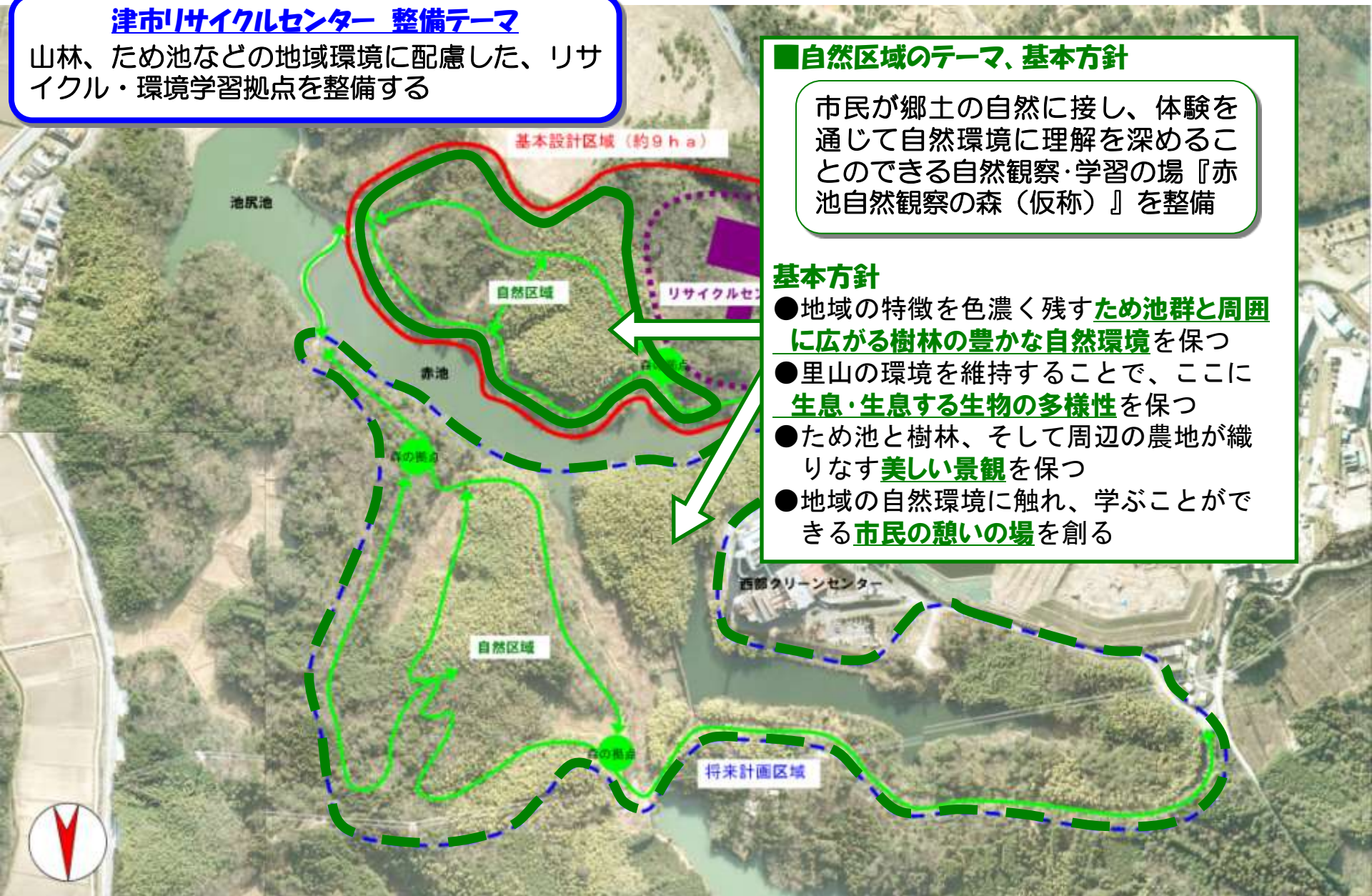
山林、ため池などの地域環境に配慮した、リサイクル・環境学習拠点を整備する

■自然区域のテーマ、基本方針

市民が郷土の自然に接し、体験を通じて自然環境に理解を深めることのできる自然観察・学習の場『赤池自然観察の森（仮称）』を整備

基本方針

- 地域の特色を色濃く残すため池群と周囲に広がる樹林の豊かな自然環境を保つ
- 里山の環境を維持することで、ここに生息・生息する生物の多様性を保つ
- ため池と樹林、そして周辺の農地が織りなす美しい景観を保つ
- 地域の自然環境に触れ、学ぶことができる市民の憩いの場を創る



3. リサイクルセンター造成計画

■造成概要

- ・造成面積：約40,000m²（うち宅盤面積：約25,000m²）
- ・道路：進入道路（車道幅員）6m（縦断勾配）8.0%
構内道路（車道幅員）6m、10m
- ・防災調整池：約10,000m³

自然区域

尾根

■造成方針

- ① 県道からの進入口は、県道の線形、縦断等を考慮し見通しの良い直線部分に設置
- ② 防災調整池は、現況地形の流下方向、現況窪地の活用を考慮して設置
- ③ 調整池を設置する沢部東側の南北尾根により造成地と自然環境の空間を分ける。
- ④ 造成高については、区域内で土量バランスがとれる高さとする。



4. リサイクルセンター施設計画

■駐車場

■車庫棟

建築面積 約 760 m²
 建築構造 鉄骨造平屋建て

■ストックヤード棟

建築面積 約 710 m²
 建築構造 鉄骨造平屋建て

■リサイクルセンター（工場棟）

全体施設能力 81 t / 日
 建築面積 約 6,300 m²
 建築構造 鉄筋コンクリート造
 一部鉄骨造
 一部 4 階建て
 破碎選別処理 42 t / 日
 (4 種選別：鉄・アルミ・可燃・不燃)
 資源物処理 39 t / 日
 (容器包装プラ 25 t / 日・ペットボトル 5 t / 日・びん 9 t / 日)



イメージ



イメージ図

■管理棟

建築面積 約 900 m²
 建築構造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
 施設内容 事務室
 環境学習推進施設
 多目的研修室
 リサイクル展示ホール
 工房実習室 等



イメージ

■新エネルギーゾーン

太陽光発電施設（実施設）・風力発電施設（レプリカ）・
 電気自動車充電設備・ジオラマ等



(参考)

■ 駐車場

5. リサイクルセンター(工場棟)

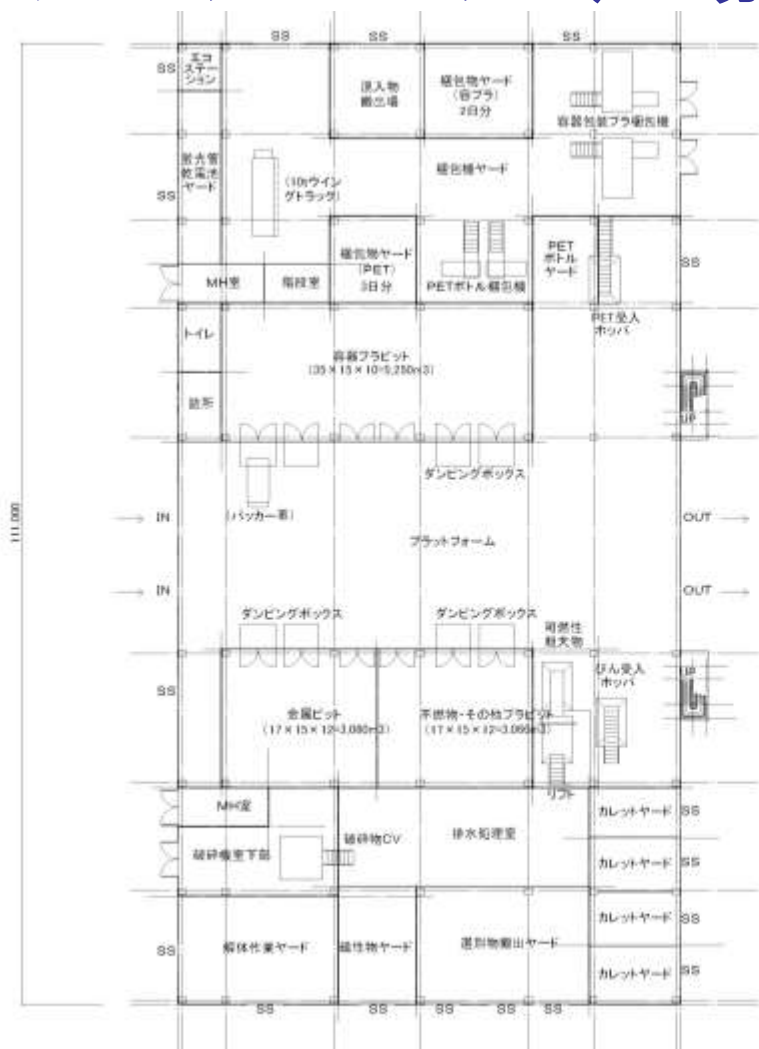


<リサイクルセンター(工場棟)施設概要>

- 全体施設能力 81t/日
- 建築面積 約6,300m²
- 建築構造 鉄筋コンクリート造
- 一部鉄骨造
- 一部4階建て
- 破碎選別処理 42t/日 (4種選別:鉄・アルミ・可燃・不燃)
- 資源物処理 39t/日
(容器包装プラ25t/日・ペットボトル5t/日・びん9t/日)

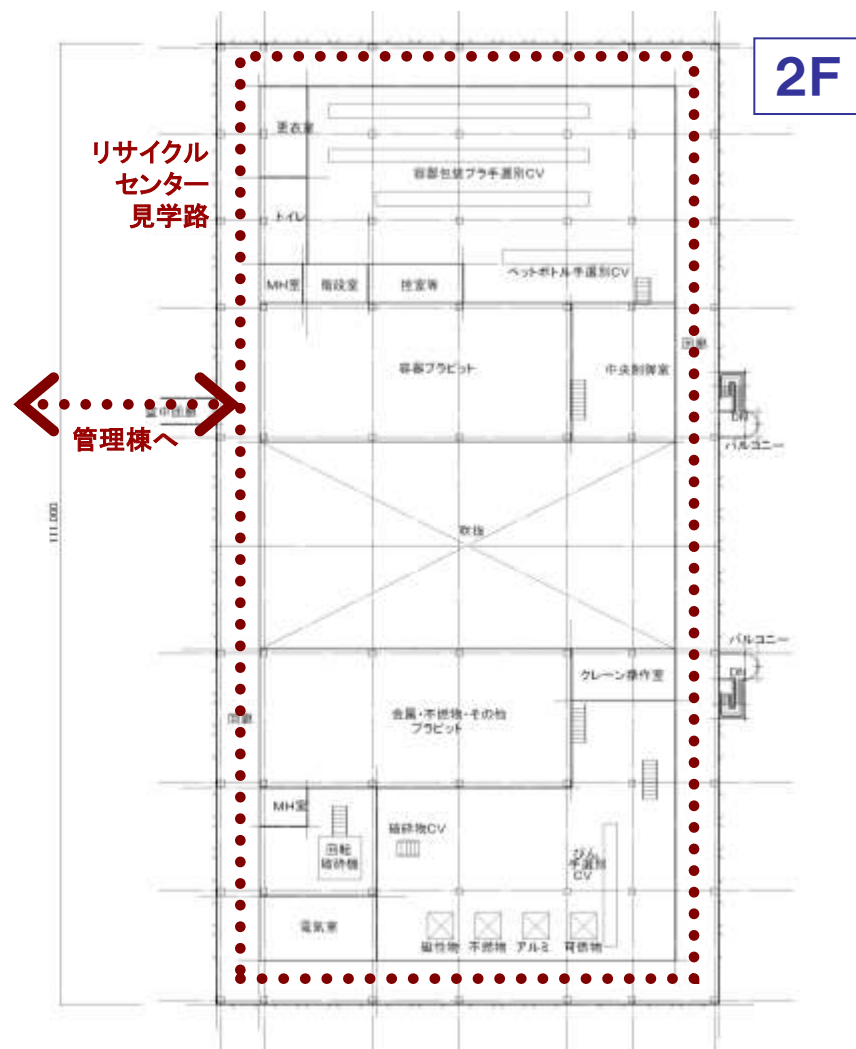
5. リサイクルセンター(工場棟)

1F



- ・処理対象物を受け入れるプラットフォーム
- ・ごみを貯留する受け入れピット・ヤード
- ・選別物を資源化したり埋め立て処分するために搬出するスペース等

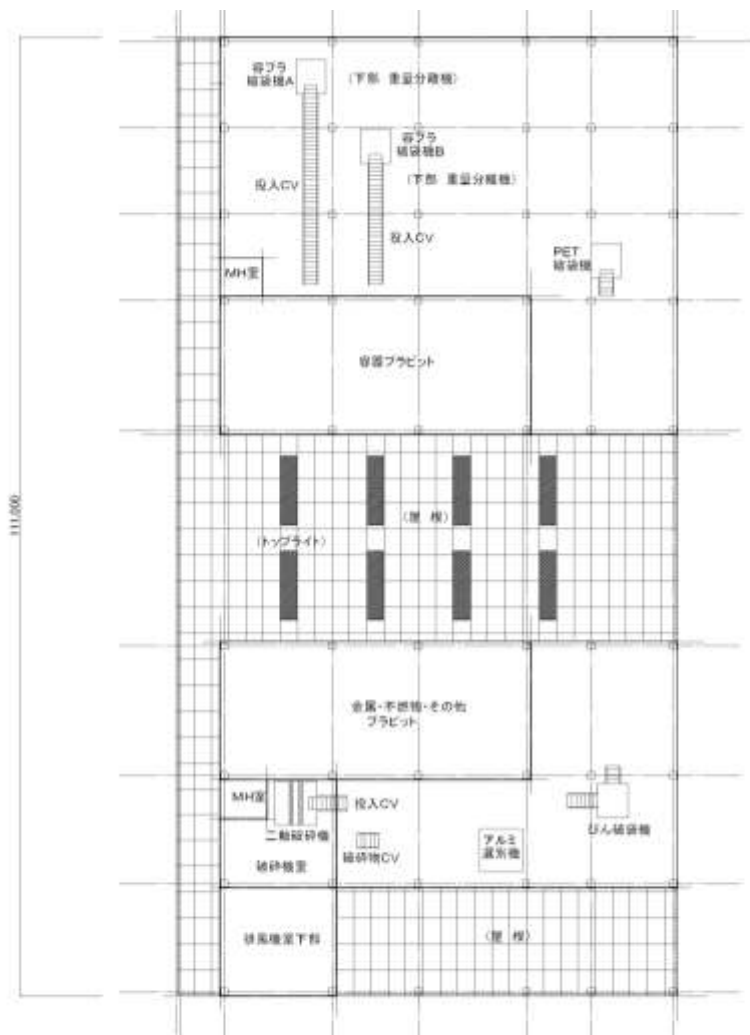
2F



- ・容器包装プラスチック、ペットボトル、びん等の手選別ライン、破砕機等の機器を制御する中央制御室等
- ・外側全周に見学者回廊を設置

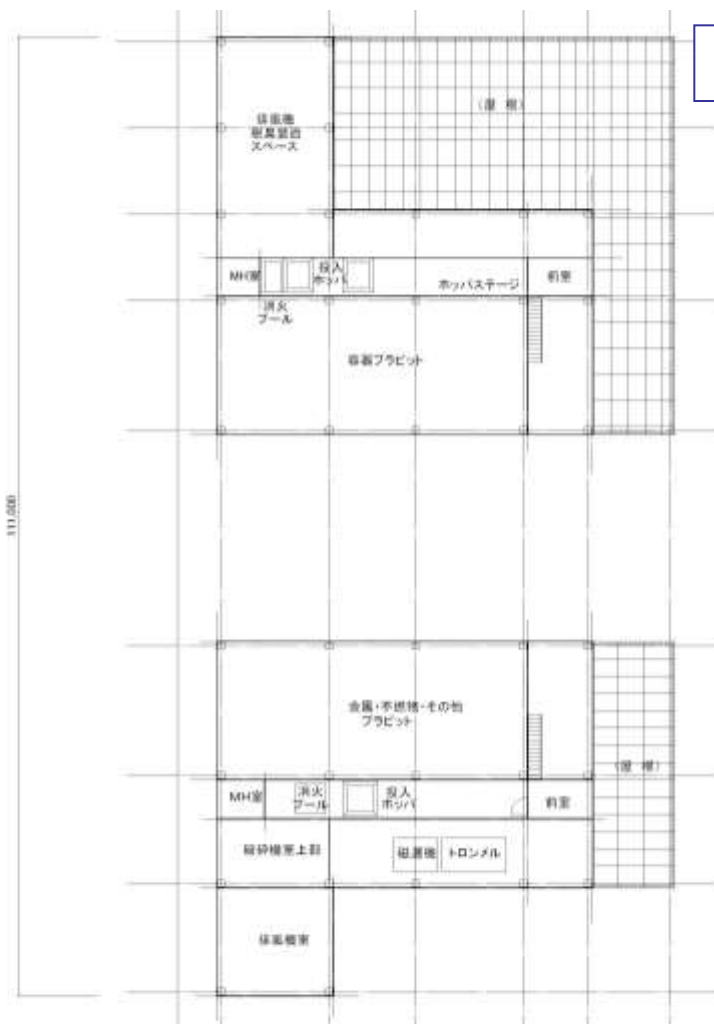
5. リサイクルセンター(工場棟)

3F



・破袋機や破碎物選別装置等

4F

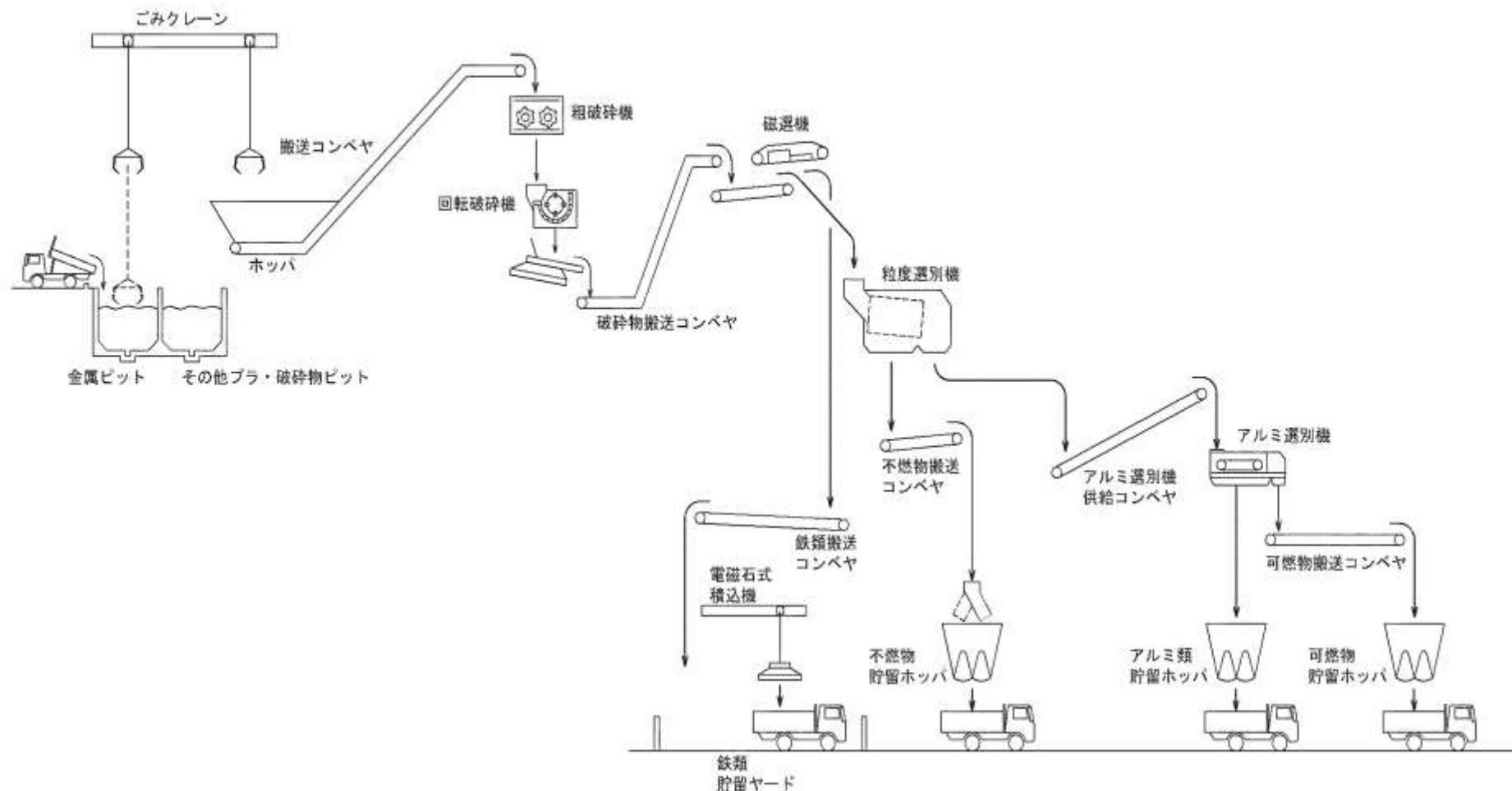


・ピットで貯留した金属類、燃やせないごみ、容器包装プラスチックを処理ラインに投入するクレーンと受け入れホッパ等
 ・集じん機や排風機等

5. リサイクルセンター(工場棟)

■処理フロー(1)

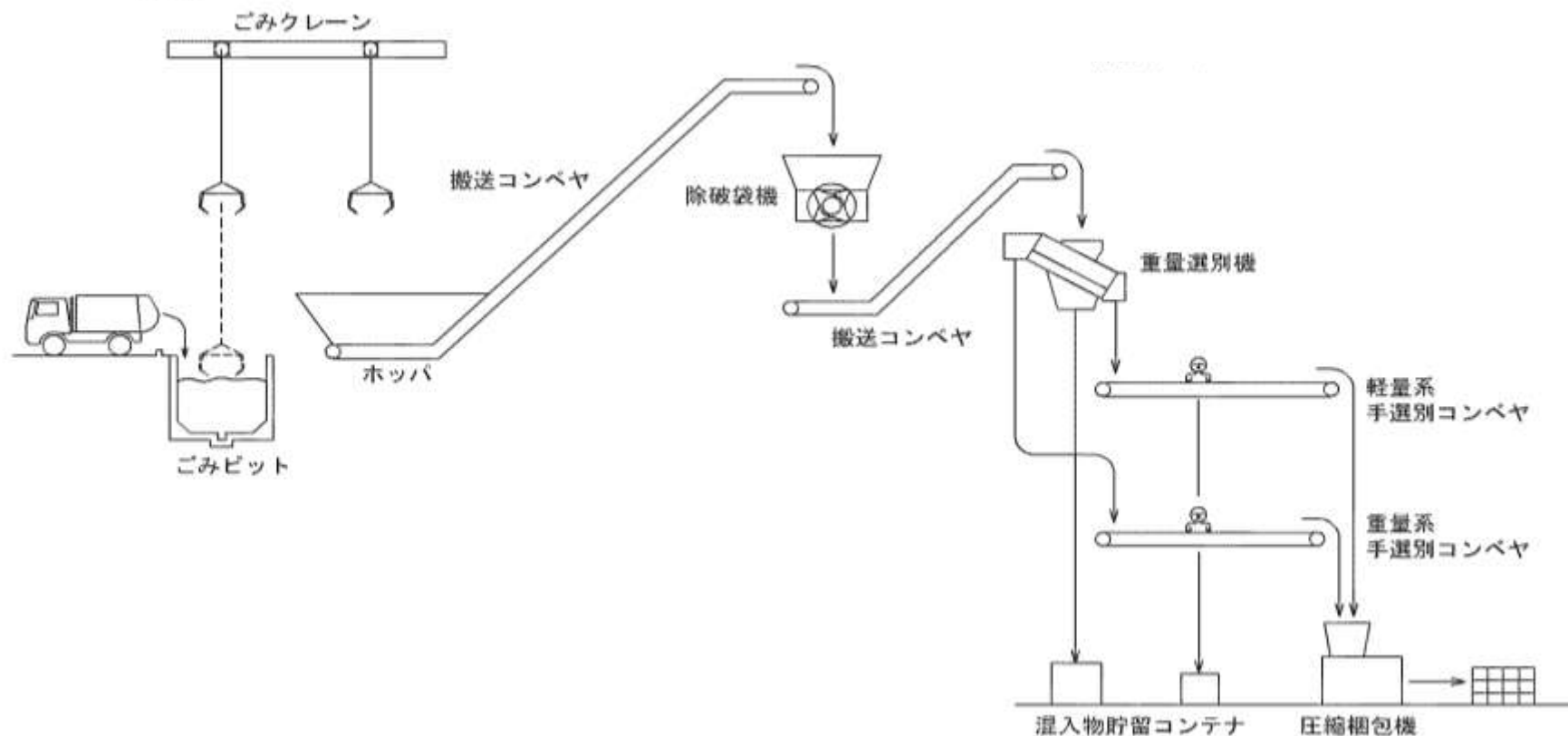
金属・破碎対象物



5. リサイクルセンター(工場棟)

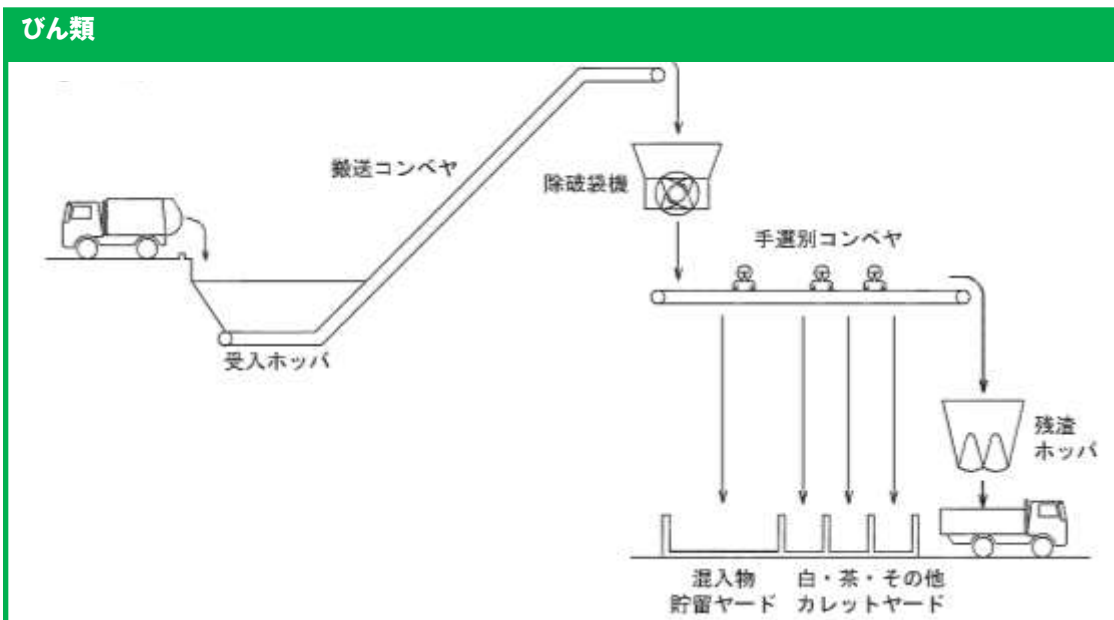
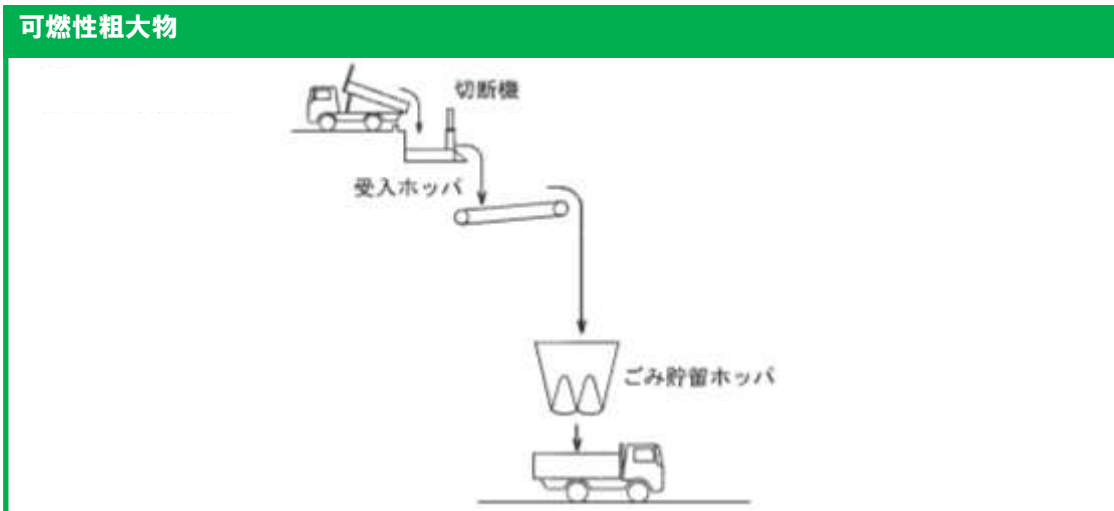
■処理フロー(2)

容器包装プラスチック



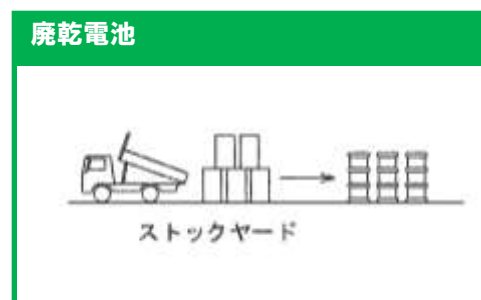
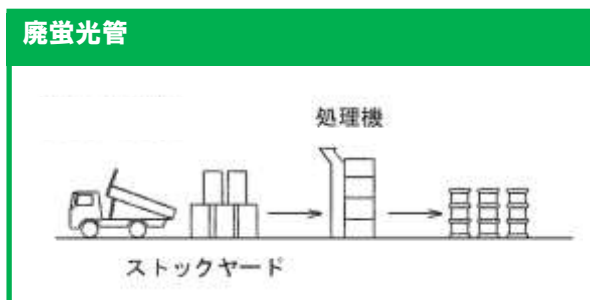
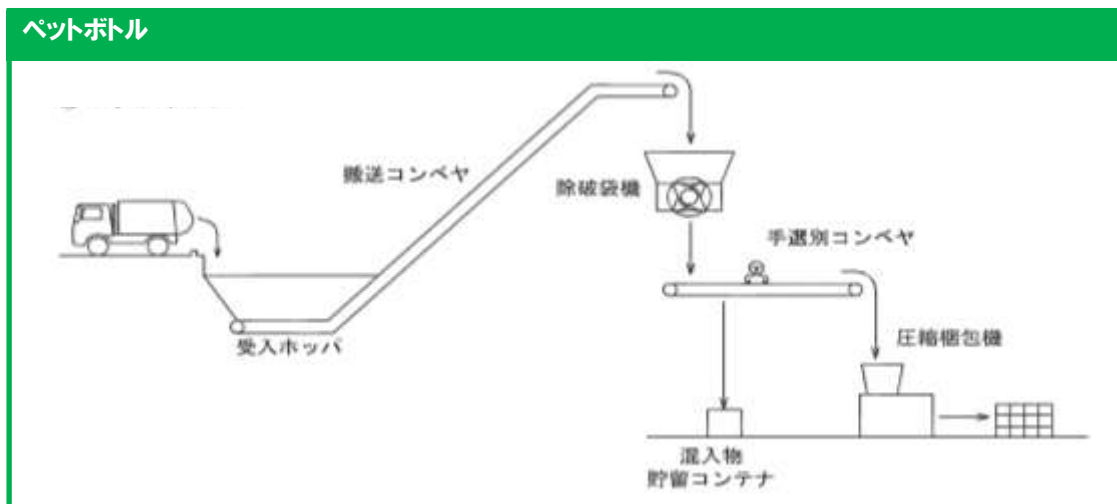
5. リサイクルセンター(工場棟)

■処理フロー(3)



5. リサイクルセンター(工場棟)

■処理フロー(4)



6. 管理棟



<リサイクルセンター(工場棟)施設概要>

- 建築面積 約900㎡
- 建築構造 鉄筋コンクリート造総2階建て
- 施設内容
事務室
環境学習推進施設
多目的研修室
リサイクル展示ホール
工房実習室 等

6. 管理棟

1F

2F



平面図1階



リサイクル
センター
見学路

6. 自然区域ゾーン計画



森の散策路



散策路



木階段

集いの広場



案内サイン



野外卓

赤池

洪水調整池

森の拠点施設

森の入口デッキ



7. 環境への配慮

(1) 現況地形や自然環境に配慮した造成

① 造成における環境配慮

- ・ 地形の改変を最小限に。
- ・ 切盛土のバランスを取って搬出土を最小限に。
- ・ 谷地形を活かした調整池配置。
- ・ 大木などの景観資源を極力保全。

など



・ 大木の保全 (現地写真)

② 植生の回復

- ・ 造成法面となる箇所については、郷土種による植栽により植生を回復。

など



・ 造成法面における苗木植栽の例

7. 環境への配慮

(2) 周辺環境に配慮したリサイクルセンター施設

①排水処理対策

- 工場棟内排水は処理後、循環利用して無放流とする。
- 生活排水は高度合併処理浄化槽で処理後、中水道用水として循環利用する。循環利用できない分は白銀環境清掃センター浸出水処理水放流管を通じて放流する。

②臭気対策

- 工場棟内の臭気は活性炭吸着塔を通じて脱臭する。

③爆発対策など

- 一般搬入については、プラットフォーム上で展開検査を行う。
- 破砕選別処理ラインには低速破砕機を前処理設備として導入し、爆発事故に配慮する。

7. 環境への配慮

(3) 自然エネルギーや環境にやさしい技術の利用

① 自然エネルギーの積極的な使用など

- 太陽光、太陽熱
 - 風力発電
 - 建物への自然採光の取り込み
 - 雨水の散水利用
 - 透水性舗装
- など

② リサイクル製品や間伐材の使用

- 廃木材粉とリサイクルプラスチックを加工した合成木材を使用したデッキ材
 - 間伐材利用のベンチ、木階段
 - リサイクル製品の舗装材
- など



・ 自然エネルギー活用のイメージ



・ リサイクル製品や間伐材の利用のイメージ